

# 岐阜県中学校社会科研究会 夏季ゼミナール

【研究主題】

主体的に社会の形成に

参画する力を育てる社会科学習



# 結論のない問題

経済活動

医療（人の命）

どちらを優先すべきか

ロシア

ウクライナ

どのように関わって

いくべきなのか

# 【研究主題】 主体的に社会の形成に 参画する力を育てる社会科学習

【仮説】 中学校 3 年間の社会科学習において、三分野の特質や接続を踏まえ、「**事実に関する認識**」を獲得する学習と「**価値に関する認識**」を形成する学習を意図的・計画的に実践すれば、主体的に社会の形成に参画することができる。

## ○社会の形成に参画する力を育てるための指導内容の明確化

- ① 単元構造図を用いた単元指導計画の作成
- ② 学習評価や指導援助にかかわる配慮事項の明確化

## ○社会の形成に参画する力を育てるための指導方法の明確化

- ① 事実に関する認識を獲得する  
授業モデルの定着・発展
- ② **価値に関する認識を形成する**  
**授業モデルの定着・発展**
- ③ それぞれの授業モデルにおける  
認識を深める場の設定

## 【疑問や課題】

- 「価値に関する認識」を形成する授業の周知。
- 主張が平行線のまま深まることなく授業を終えることが多く、話し合いの組織化が難しい。
- 特に歴史的分野においては、当事者意識がもてない。
- 「留保条件」の活用の在り方。

→授業実践への戸惑い





社会の急速な変化により、  
予測が困難な時代

## 【めざす姿】

---

- どの生徒もが課題意識をもち、課題解決に向けて考察, 構想 (選択・判断) をし, 粘り強く取り組もうとしている姿。
- 学びを実感し、「もっと調べたい, 議論したい」など、社会的な事象への多様な関わりをもとうとする姿。

自分や周りの幸せのために  
主体的に行動できる力へ

# 【研究主題】 主体的に社会の形成に 参画する力を育てる社会科学習

【仮説】 中学校 3 年間の社会科学習において、三分野の特質や接続を踏まえ、「**事実に関する認識**」を獲得する学習と「**価値に関する認識**」を形成する学習を意図的・計画的に実践すれば、主体的に社会の形成に参画することができる。

## ○社会の形成に参画する力を育てるための指導内容の明確化

- ① 単元構造図を用いた単元指導計画の作成
- ② 学習評価や指導援助にかかわる配慮事項の明確化

## ○社会の形成に参画する力を育てるための指導方法の明確化

- ① 事実に関する認識を獲得する  
授業モデルの定着・発展
- ② **価値に関する認識を形成する**  
**授業モデルの定着・発展**
- ③ それぞれの授業モデルにおける  
認識を深める場の設定

「社会の急速な変化により、予測が困難な時代」

定まった結論のない問題の解決には・・・

考えの基盤（土台）となる知識や概念、事象間の関連の考察

①：事実に関する認識を獲得する授業モデルの定着・発展

+

どのような未来を選びとっていくのか選択・判断する力

②：価値に関する認識を形成する授業モデルの定着・発展

主体的に社会の形成に参画する力を育てる社会科学習

# 岐阜県中学校社会科研究会が目指す授業

## ㊤ 事実に関する認識を獲得する授業

- ・この授業は、結論は定まったものになる
- ・地理的分野、歴史的分野の9割、公民的分野の7～8割
- ㊤割合からも、分かるように中学校社会科の授業においては、基本の授業となる

### 【課題例】

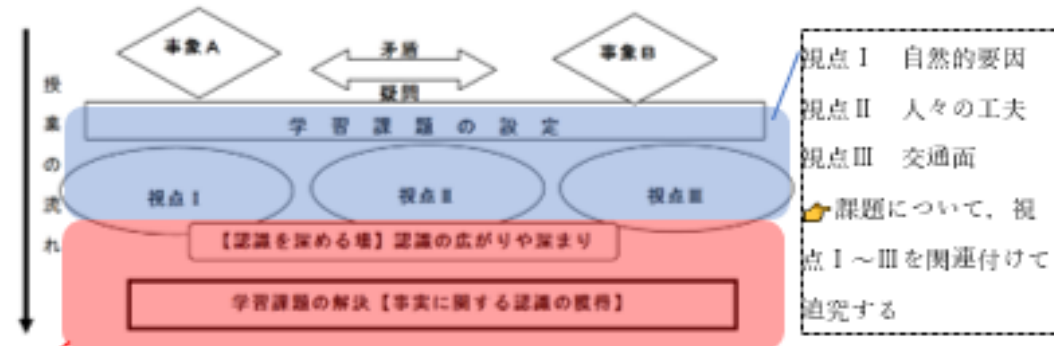
- なぜ、関市にあるK社の刃物産業は、100年以上も続いているのだろうか？
- 承久の乱で、多くの御家人が、朝廷ではなく幕府の味方をしたのはなぜか？

### 【実践のPoint】

- 資料を提示し、生徒から「なぜ？」といった疑問から課題設定をする
- 設定した課題について、予想から、課題を解決するための視点が設定されるとよい
- 認識を深める場では、生徒の思考が深まるような手立て（深めの問い、深めの資料、生徒の疑問）を用いることができると深い学びとなる  
(👉事実に関する認識の獲得)

### 【授業モデルと実践例のリンク】

(課題例) 長野県川上村でレタスの栽培量が日本一なのはなぜか？



- 👉生徒の思考が深まるような手立て（深めの問い、深めの資料、生徒の疑問）を用いて、認識を広げたり深めたりして課題解決を図る

## ㊦ 価値に関する認識を形成する授業

- ・この授業については、結論が未だ定まっていないものになる
- 👉現在～未来の問題を取り上げて話し合うことが基本である
- ㊦事実に関する認識を獲得した上での授業となる
- ・地理的分野、歴史的分野の1割、公民的分野の2～3割

### 【課題例】

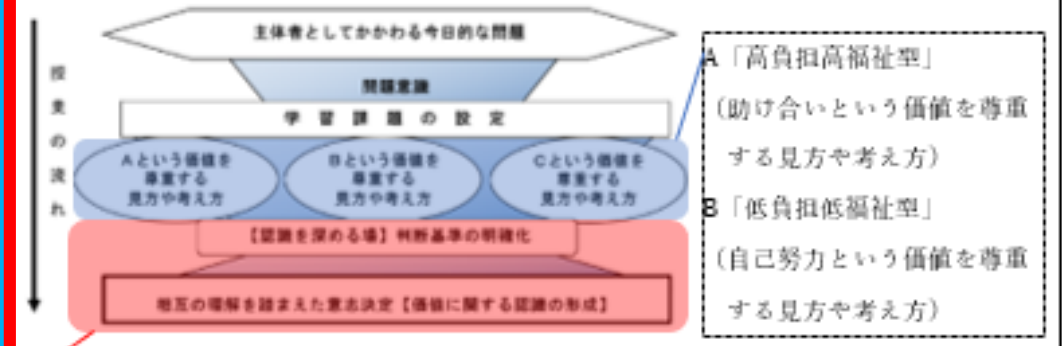
- 少子高齢化が進む中で、日本の社会保障はどうあるべきだろうか？
- 新型コロナウイルス感染症対策において経済、医療どちらを優先すべきか？

### 【実践のPoint】

- 今日的な現代社会の問題から、課題設定をする
- 課題設定から、異なる見方や考え方を提示したり、考えさせたりする。その中で、よりよい社会のあり方や自己の生き方などについて選択・判断していく。
- 認識を深める場では、それぞれの主張点を理解したり、論点を明確にしたりする
- 事実に関する認識や、相互の理解を踏まえたうえで、合理的に構想（選択・判断）し、最終的な意志決定をさせる (👉価値に関する認識の形成)

### 【授業モデルと実践例のリンク】

(課題例) 少子高齢化が進む中で、日本の社会保障はどうあるべきだろうか？



- 👉A, B どちらの見方や考え方も理解した上で、判断基準を明確にして、合理的に意志決定する



## 岐中社の考える

### 【事実に関する認識】

知識や概念と、それらを活用してとらえた社会的事象の意味や意義、事象間の関連の考察

### 【価値に関する認識】

事実に関する認識や、相互の理解を踏まえ、合理的な意思決定をした価値判断の内容（個人内での意思決定）

事実に関する認識を踏まえ、折り合いを付けながら合意形成した価値判断の内容（集団での合意形成）

中学校学習指導要領 解説 社会編 教科の目標P.26

(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

※学習指導要領では、「選択・判断」は「構想（選択・判断）」の表記を用いている個所もある。

合理的な意思決定

価値判断の内容  
(個人内での意思決定)

飲食店の営業は控えるべきだ（医療優先）と考えます。なぜなら、死者も増加しており、病床使用率が高いことから分かるように、現段階では予防が難しく医療機関がパンクしそうだからです。このままでは、救えるはずの命も救えません。



「より正しい、幸せ、正義だ、納得できる…」

相互理解

<価値判断させる場面>

どれも一理あるな。



認識の深まり

(医療を優先すべき) 飲食店は営業を控える	(経済を優先すべき) 飲食店は通常営業する	認識 関する 価値に	価値判断の内容
重症化しやすい、 予防が不可能 など	重症化しにくい 予防が可能 など	事実 に関する 認識	考察
感染者数・死者数の増加 病床使用率のひっ迫など	変異株の症状 ワクチンの開発など		概念 知識

認識の広がり

# 多くの人と考えをすりあわせた結論 =事実に関する認識を踏まえ、合意形成した価値判断 の内容(集団での合意形成)

店を営業しなければ、飲食店に携わる人々の生活が成り立たない。その結果、飲食店に携わる人々の命が危ないという意見には納得した。だからといって、大多数の命が危険にさらされることはよくない。そこで、感染対策を徹底したり、営業時間を8時までとして営業時間を短縮したり、お酒の提供を制限したりするのならば、営業を認めてもよいのではないかと考える。



飲食店の営業は控えるべきだ  
【医療(人の命)優先】

飲食店は営業すべきだ  
【経済活動優先】



# 価値に関する認識を形成する授業

---

- ・結論が未だ定まっていないもの
- ・現在～未来の問題を取り上げて話し合うことが基本である
- ・地理的分野、歴史的分野の1割、  
公民的分野の2～3割



# 岐阜県中学校社会科研究会が目指す授業

## ㊤ 事実に関する認識を獲得する授業

- ・この授業は、結論は定まったものになる
- ・地理的分野、歴史的分野の9割、公民的分野の7～8割
- ㊤割合からも、分かるように中学校社会科の授業においては、基本の授業となる

### 【課題例】

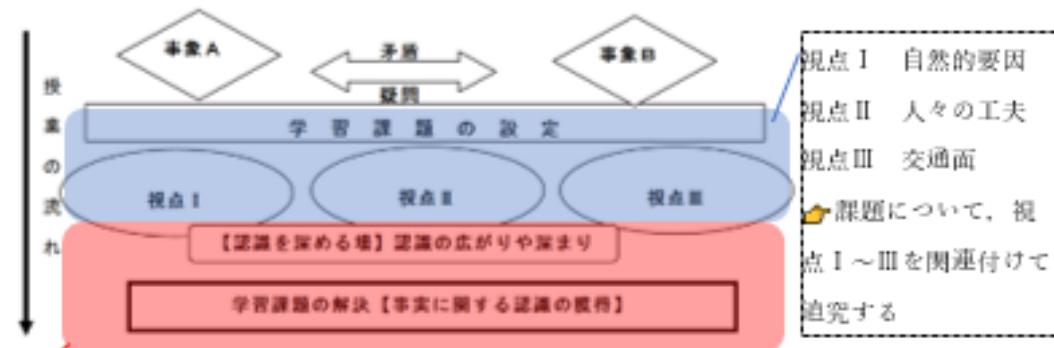
- なぜ、関市にあるK社の刃物産業は、100年以上も続いているのだろうか？
- 承久の乱で、多くの御家人が、朝廷ではなく幕府の味方をしたのはなぜか？

### 【実践のPoint】

- 資料を提示し、生徒から「なぜ？」といった疑問から課題設定をする
- 設定した課題について、予想から、課題を解決するための視点が設定されるとよい
- 認識を深める場では、生徒の思考が深まるような手立て（深めの問い、深めの資料、生徒の疑問）を用いることができると深い学びとなる  
(👉事実に関する認識の獲得)

### 【授業モデルと実践例のリンク】

(課題例) 長野県川上村でレタスの栽培量が日本一なのはなぜか？



- 👉生徒の思考が深まるような手立て（深めの問い、深めの資料、生徒の疑問）を用いて、認識を広げたり深めたりして課題解決を図る

## ㊦ 価値に関する認識を形成する授業

- ・この授業については、結論が未だ定まっていないものになる
- 👉現在～未来の問題を取り上げて話し合うことが基本である
- ㊦事実に関する認識を獲得した上での授業となる
- ・地理的分野、歴史的分野の1割、公民的分野の2～3割

### 【課題例】

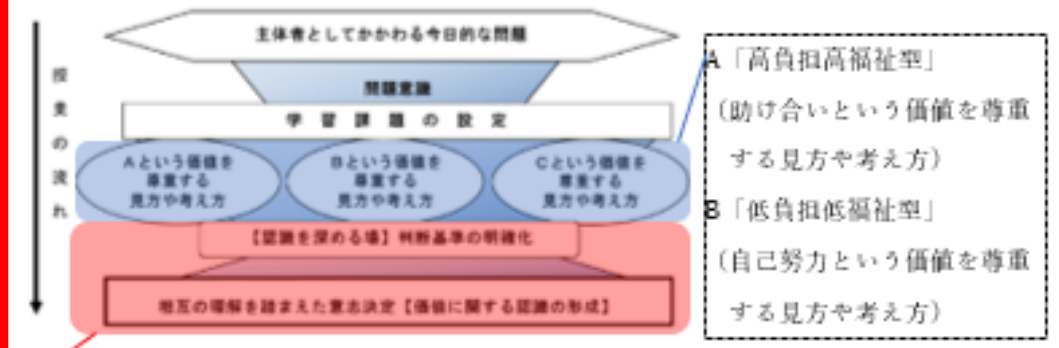
- 少子高齢化が進む中で、日本の社会保障はどうあるべきだろうか？
- 新型コロナウイルス感染症対策において経済、医療どちらを優先すべきか？

### 【実践のPoint】

- 今日的な現代社会の問題から、課題設定をする
- 課題設定から、異なる見方や考え方を提示したり、考えさせたりする。その中で、よりよい社会のあり方や自己の生き方などについて選択・判断していく。
- 認識を深める場では、それぞれの主張点を理解したり、論点を明確にしたりする
- 事実に関する認識や、相互の理解を踏まえたうえで、合理的に構想（選択・判断）し、最終的な意志決定をさせる (👉価値に関する認識の形成)

### 【授業モデルと実践例のリンク】

(課題例) 少子高齢化が進む中で、日本の社会保障はどうあるべきだろうか？



- 👉A、B どちらの見方や考え方も理解した上で、判断基準を明確にして、合理的に意志決定する

# 2年生歴史的分野

## 「欧米の進出と日本の開国」

### 2節 欧米の進出と日本の開国

1 欧米のアジア侵略 .....	160
2 開国と不平等条約 .....	162
3 開国後の政治と経済 .....	164
4 江戸幕府の滅亡 .....	166

日米修好通商条約／井伊直弼

#### 4 本時のねらい

日米修好通商条約の締結に至る過程を考えることを通して、天皇の許しを得ていないのに、井伊直弼が不平等条約を結んだ判断について、自分なりの判断基準を明確にしながら考察することができる。

#### 5 本時の展開

過程	学習活動	研究内容について
導入 展開前段	1. 前時の復習と資料、本時の課題を確認する。 不平等な内容なのに、なぜ井伊直弼は日米修好通商条約を結んだのか。	・課題の確認。【研究内容1】
	2. 資料を使って、前時に一人で追究したものを全体交流する。 【資料1】為政者（政治を行う人）の立場 ・国力の差がある。 ・戦争になれば勝ち目はない。 【資料2】アメリカの立場 ・イギリスのアジア侵略について知る。 ・貿易以外の目的はない。 ・ハリスの圧力もあった。 【資料3】世界の情勢 ・戦争もいとわぬやり方で、厳しい内容の条約を結び、自由貿易を拡大していこうとしていた。 ・戦争になり、負けると、不利な条件を強制的に結ばされる。	・少数交流—全体交流（事実に関する認識の獲得）【研究内容1】
展開後段	・戦争になり、負けると、植民地にされる。 ・日本とアメリカ（欧米諸国）は国力の差があり、戦っても勝ち目はない。 ・貿易以外の目的はないアメリカと先に結んでおいた方が・・・ ・ハリスの圧力もあり天皇の許しを待つ猶予はなかった。 ・国を守る（欧米諸国の植民地にならない）ことを優先したから。 3. その後の国内情勢を知る。 天皇の許しを得ないまま調印したことには「尊王派」が、開国し貿易したことには「攘夷派」が井伊直弼を攻撃し、国内が不安定になった。そのため井伊直弼は、反対派を抑え、幕府の権威を強化し、国内を安定させるため、尊王攘夷運動への徹底的な弾圧を行った。（安政の大獄）それに対して、井伊直弼は襲われなくなり、幕府の権威は失墜した。（桜田門外の変）	・井伊直弼が不平等条約を結ぶという決断に対して評価し、自分なりの判断基準を明確にしながら考察する（価値に関する認識を形成する授業の要素）【研究内容1】
	4. 追究した内容と既習を活かしてさらに一人で課題追究をする。 井伊直弼の決断をプラスに評価するのか、マイナスに評価するのか。 プラスの評価 ・日本より大きな音でさえ、イギリスに勝てなかった。清の国の状況や欧米諸国の国力を考えれば、井伊直弼の決断は納得だ。むしろ、そうすべきだったと思う。 ・井伊直弼の政治生命を賭けた決断なのだからよい。 ・当時の情勢を考えれば、アメリカの圧力に勝てるわけがないのだから、井伊直弼の決断は妥当だと思う。 マイナスの評価 ・不平等条約は、やっぱり納得できない。戦う前から逃げないで、不平等な内容を拒否する強気な姿勢が必要だった。 ・天皇の許しが出ないまま結んだのは間違っていた。国内の反対を抑えるためにも天皇の許しを得られるまで結ぶべきだった。 ・井伊直弼の独断で決めるべきではなく、何度も話し合い、天皇の許しを得るか、反対派をもう少し納得させてから結ぶべきだった。	・井伊直弼が不平等条約を結ぶという決断に対して評価し、自分なりの判断基準を明確にしながら考察する（価値に関する認識を形成する授業の要素）【研究内容1】
終末	5. 自分の評価と根拠を少数交流する。 6. 少数交流をもとに、評価を再構築し、自分の学びを振り返る。 はじめは井伊直弼の決断をマイナスに評価していた。わけは「不平等」な内容だったから。しかし、交流で〇〇さんの「欧米諸国の国力との差」という視点から「日本の国を守る」ためには、必要だったというプラス評価に考えが広がった。その決断が、結果的には日本国内をさらに不安定にさせたが、それでも戦って負けて植民地になるよりは、私はよかったのではないかと思う。	評価規準【思考・判断・表現】 日米修好通商条約の締結に至る過程を考えることを通して、天皇の許しを得ていないのに、なぜ井伊直弼は不平等条約を結ぶという判断をしたことについて、自分なりの判断基準を明確にしながら考えをまとめることができる。 【評価方法】 ②③④の場面での交流や発言内容 ④⑥の場面での記述内容
	7. 再構築された自分の考えを全体交流する。 はじめは井伊直弼の決断をマイナスに評価していた。わけは「不平等」な内容だったから。しかし、交流で〇〇さんの「天皇の許し」という視点から「国内の尊王派により幕府の権威失墜につながった」から、条約を結ぶべきでなかったというマイナス評価に考えが深まった。外国と戦って負けて植民地にはならなかったが、結果的には日本国内をさらに不安定にさせたので、私はよくなかったと思う。	

## 不平等な内容

## 井伊の決断

当時の日本とアメリカには国力の差があるため、戦争になれば勝ち目はなく、そうなればより不利な条件の条約を結ばされることを井伊は回避したかった。

## 意思決定の適否

## 過去を教訓にすること

井伊直弼の決断をプラスに評価するのか、マイナスに評価するのか



「事実に関する認識を獲得する授業」 +  
「価値に関する認識を形成する授業」の要素

歴史的評価をする

→ 当事者の判断の想いを考える。

議論を通じて、背景にある社会的事象や  
当時の人の価値を理解。



## 【一歩、踏み込んで…】

- その時点、またはその以前の時点において考える選択肢のうち、ほかのいかなる意思決定をしていれば、それを回避できたのか。

## 【この授業事例の場合】

- 幕府の外圧の中、不平等な条約をどうすれば回避できたのか。もし、その時点で回避不可能だったのだとすれば、どの時点にかさのぼれば、選択の余地のない状況を招かないような意思決定が可能だったのか。

18世紀後半にロシアが最初に、平和的に通商を求めてきたときに、開国を決断していれば、列強からの圧力にうまく対処するすべを習得できたかも？



誰がやっても一緒だったかも？



17世紀前半の鎖国政策がそもそも間違いだったかも？



かつてタブー視されていた「IF」を問うこと

結論のないものを選択・判断していく  
＝「事実に関する認識」があった上でのもの

---



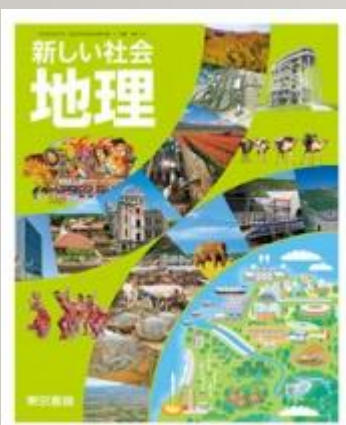
「価値に関する認識を形成する授業」

→単元の終末に設定される場合が多い

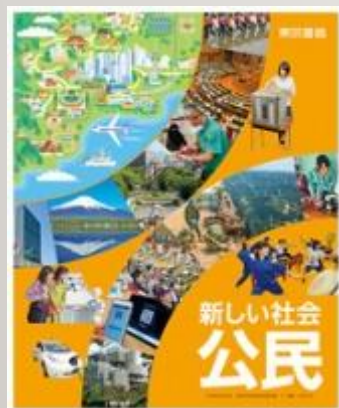
【一番実践しやすい形式】

「確かな事実認識を獲得することをねらいとしながら、選択・判断もしていく」ような「事実に関する認識を獲得する授業」の中に「価値に関する認識を形成する」要素を入れる授業形式

「事実に関する認識を獲得する授業」に「価値に関する認識を形成する授業」の要素を取り入れた授業  
(岐中社:「事実に関する認識を獲得する授業」と「価値に関する認識を形成する授業」の接続の授業)



「価値に関する認識を形成する授業」(1割しかない)



「価値に関する認識を形成する授業」  
認識を深める場の手立てとして「留保条件」  
の設定による議論を行う



# 留保条件

折り合いをつけながら自分なりの最適解を導き出すための条件（「～ならば」の部分）

店を営業しなければ、飲食店に携わる人々の生活が成り立たない。その結果、飲食店に携わる人々の命が危ないという意見には納得した。だからといって、大多数の命が危険にさらされることはよくない。そこで、**感染対策を徹底したり、営業時間を8時までとして営業時間を短縮したり、お酒の提供を制限したりするのならば、営業を認めてもよいのではないかと考える。**



# 価値に関する認識を形成する授業での課題

---

- 互いの意見を言いつばなしで、自分の主張をして終わっているだけではないか。
- 深める段階で学習者の判断基準があいまいであり、何か手立てをうつ必要があるのではないか。

煮詰まる議論 → 解決する手立ての1つが留保条件

# 社会科の授業における選択・判断の場面でも…

自分だけではなく、より多くの方がより納得できると思える考えを、おとしどころを探して、折り合いをつけながら導き出していくことが大切      そのための条件→**留保条件**

集団での合意形成の場で「留保条件」は有効



## 西濃地区各分野の研究分野と会場校

### 【揖斐・安八】

地理的分野

「アフリカ州」

「今日の問題であるか」「当事者意識をもてるか」を重視し、【価値に関する認識を形成する授業】を提案

### 【大垣】

歴史的分野「開国と近代日本の歩み」

【事実に関する認識を獲得する授業】と【価値に関する認識を形成する授業】の接続の授業を提案

### 【養老・不破・海津】

公民的分野「地方自治と私たち」

【価値に関する認識を形成する授業】の中で、認識を深める場の手立てとして、留保条件の設定による議論を提案



## 【要点】

- 「価値に関する認識を形成する授業」  
結論の未だ定まっていない、答えのない問いを扱う。
- これまでの授業に「価値に関する認識を形成する授業」の要素を取り入れるとやりやすい。
- 例えば、歴史の転換点における意思決定の適否を問うことや、かつてタブー視されていた「IF」を問うことなどを授業に取り入れる。
- 留保条件を取り入れると、考えが深まりやすい。

# http://http://gichusya.com/

← → ↻ ▲ 保護されていない通信 | gichusya.com ☆ 〻 〻 ⋮

岐中社が目指す授業像 運営委員会 西濃大会 代議員会 授業研究委員会 指導計画 夏季ゼミナール



**岐阜県中学校社会科研究部会**

令和5年度 研究の方向  
—主体的に社会の形成に参画する力を育てる社会科学学習—

検索


西濃大会



養老町は、西濃地域の他の市町と合併すべきか。

20 14

合併すべき 合併すべきではない





# 10月31日（火）

# 西濃地区大会

2 会場 大野町立大野中学校, 大垣市立興文中学校, 養老町立高田中学校  
(地理的分野公開) (歴史的分野公開) (公民的分野公開)

3 日程

13:00 13:30	14:00 14:10	15:00 15:10	16:30		
受付	全体会 (各会場校) ・岐中社会長挨拶 ・来賓祝辞 ・研究内容の提案 ・日程連絡	移動等	授業公開 (各会場校) 大野中学校(地理) 興文中学校(歴史) 高田中学校(公民)	休憩	分野別協議会 (各会場校) ・分野長, 授業者より ・研究討議 ・指導・講評

**授業校とオンラインでの両方で公開予定**